



—いのち、暮らし、平和が大事！—
日本共産党京都市議会議員

山本 陽子

活動ニュース



VOL.96
2022年8月28日号

〈連絡先〉
日本共産党
山科区生活相談所
山科区西野大手先 8-8
☎ 595-8342

えっ？京都市、「財政危機は回避」 …どころか、黒字決算！？

8月2日京都市長の記者会見で2021年決算概況が発表されました。ニュースをご覧になられた方は、「『財政破綻、や、って言うてたのに、もう危機は回避できたんか！？』」と思われたことでしょう。



「85億円の赤字」はある、と言っているのですが、これに関しても赤字をつくるための操作がされていたことについては、市長は説明しませんでした。つまり、3月の議会報告でもお伝えしたように、「2021年度の収入は予算よりも200億円も増える見込み」となったので、そのうち13億円は活用財源に回したうえで、残り187億円は公債償還基金の返済の積み立てにあてています。基金への積立は、計画的に行えばいいもので、その187億円は本来一般財源にできるものなのです。だとすれば、赤字と言っている85億円を引いても、102億円の黒字！！実質黒字なのに、さんざん赤字で厳しい、というための操作をして市民を騙しているのではないですか？

見積もりがあまりにもずさんで財政危機の前提が崩れているのですから、行財政改革の名のもとに行う数々の市民負担増は撤回すべき！ それしかありません！



福岡県糸島市乗り合いバスサービスの視察のようす。→

まちづくり委員会 他都市調査に行ってきました！



* 福岡県糸島市 乗り合いバスサービス
『チョイソコよかまちみらい号』 についての調査

自 動車販売だけではなく交通移動の支援もしていこうと、トヨタ自動車系列の昭和グループが中心になって産学官連携したMaaS事業(※)に取り組んでいます。観光エリアと学研都市エリア、高齢化進行エリアでプロジェクトを組んでいますが、高齢化エリアのオンデマンドバスを視察しました。8人乗りのハイエース、一回乗車200円。乗車場停留所と行き先を事前に予約。路線バスルートと外れた地域で。公共施設、商業施設などにつないでいます。対象人口2万人の地域で、会員数1000人突破。1日平均40人乗車。秋以降は2台から4台に増車。それでも不採算。糸島市からの補助金が相当額入っています。(※ MaaS (マース: Mobility as a Service) とは、地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うサービス)

陽子の感想: MaaS事業は万能ではない。やはり公共共通は国や自治体が責任持つ必要あり。

* 福岡県福岡市
『コミュニティパーク事業、についての調査

地 域の独自ルールで公園利用を可能にすることを認めたり、休憩所的なパークハウスの設置を市が行う代わりに、地域自治会が公園の管理を担うという立て付け。

陽子の感想: 市は1400ある公園の管理責任を縮小していくという思惑があったようだが、結局6つの自治会でしか契約を締結できていない。町内会長が変われば、管理の責任も希薄になっている。やはり、公共施設について公的責任を後退させ、自助や地域の共助にゆだねっていく仕組みは、限界があるということが、この事例でも証明された。

ヨココの

ママチャリ子育て日記

原水爆禁止世界大会(広島集会)に
親子で参加しました



今回は、親子三人の一言感想を掲載します。

《母・陽子》

被爆後の状況や、戦争被害の事実を知る努力を忘れないこと。それが戦争をさせない、核兵器を廃絶させる大きな力になる。このことを改めて思い知ったのが、今回の一番の収穫です。当たり前のことだけれど大切。被爆地を歩き、被爆者の方のお話や、若者や海外の平和活動のいろんな話を聞いて、親子で共に感じる時間を共有できて良かった。

《中2の娘》

生き残った被爆者の方も原爆によるがんや、原因不明の病気で亡くなっていくのほども悲しいことであり、原爆被害の悲惨さを実感します。このような被害を現代で繰り返さないためにも、日本が積極的に核兵器廃絶に取り組むことが重要だと思います。

《小6の息子》

ヒロシマは行くのも怖くて、原爆ドームは少ししか見なかったけど、それでも原爆のすごさがわかった気がする。会議に出て、広島での原爆の被害に多くの人が注目していて、話に耳を傾けているんだなと思つて、嬉しくなつた。

